

日医発第 246 号（生教）
令和 7 年 5 月 8 日

都道府県医師会
担当理事 殿

日本医師会常任理事
今 村 英 仁
（公 印 省 略）

かかりつけ医機能報告制度にかかる研修における
「医師会会員情報システム MAMIS」研修管理機能マニュアル（Ver. 1.0）等
の送付について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

かかりつけ医機能報告制度にかかる研修における医師会会員情報システム MAMIS（以下、「MAMIS」という。）の操作マニュアル等として、下記 3 点をお送りいたします。

貴会管下の郡市区等医師会ならびに会員への周知方につきまして、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. MAMIS 研修管理機能マニュアル＜医師会事務局向け かかりつけ医機能報告制度にかかる研修の修了申請承認作業編＞Ver. 1.0（2025 年 5 月 8 日）
 2. MAMIS 研修管理機能マニュアル＜医師向け（マイページ） かかりつけ医機能報告制度にかかる研修の修了申請編＞Ver. 1.0（2025 年 5 月 8 日）
 3. かかりつけ医機能報告制度にかかる研修 修了申請書
- （参考）かかりつけ医機能報告制度にかかる研修 実施要綱

MAMIS 研修管理機能操作マニュアル

<医師会事務局向け かかりつけ医機能報告制度にかかる研修の修了申請承認作業編>
Ver.1.0

2025年5月8日

日本医師会生涯教育課

かかりつけ医機能報告制度にかかる研修

- 本制度の詳細は「かかりつけ医機能報告制度にかかる研修 実施要綱」（以下、「実施要綱」という。）をご確認ください。
- 座学研修（知識）とは、日医生涯教育制度で取得した単位となります（カリキュラムコードは用いません）。
- 実地研修（経験）とは、地域住民を守るため、それぞれの地域を面で支える活動で、申請者の自己申告によるものです。
- 座学研修と実地研修、それぞれ必須で、取得単位合計が10単位以上に達した場合、申請可能です。
- 実地研修（経験）について、郡市区医師会または都道府県医師会が承認する旨、実施要綱において定めていることから、承認作業へのご協力をお願いします。
- 申請医師会につきましては、会員の所属郡市区医師会をデフォルトで表示しておりますが、都道府県医師会も選択可能です。各都道府県における事情に応じて、申請先をご調整ください。
- 基本的には申請者ご自身によりMAMISマイページから申請いただきますが、マイページからの申請が難しい申請者向けの申請様式として「かかりつけ医機能報告制度にかかる研修 修了申請書」を用意しています。申請書が提出された場合は、医師会事務局側の画面から代理で申請を行ってください。（「2.新規修了申請（代理申請）」参照）

1. かかりつけ医機能報告制度にかかる 研修の修了申請一覧（その1）

メインメニューから【認定（修了）申請者一覧】をクリックすると、修了申請者一覧画面に遷移する。

- ①制度種別：【かかりつけ医機能報告制度にかかる研修】を選択する。
- ②修了証書・認定証交付年度・月次：承認作業を行う年度を選択する。
- ③【検索】をクリックすると、申請者が一覧表示される。

MAMIS

医師会会員情報システム
研修会(講習会)管理システム

氏名：研修管理 ユーザ1

システムメニュー

閉じる

研修会(講習会)管理

生涯教育申告書データ入力

受講記録出力

認定(修了)申請者一覧

認定(修了)申請者一覧

認定(修了)申請者一覧

検索条件

閉じる

制度種別 必須

☒ かかりつけ医機能報告制度にかかる研修

修了証書・認定証 交付年度・月次 必須

▼ 年度

申請先医師会

北海道医師会 ▼

医籍登録番号

000000

氏名(漢字)

入力ください

氏名(全角カナ)

入力ください

認定(修了)申請・承認状況

☒ 一時保存中

☒ 承認待ち

☒ 差戻し

☒ 承認済

検索

クリア

新規

申請内容確認・変更

差戻し

承認

修了証/認定証ダウンロード

☐ 修了証や認定証に旧姓・旧名を使用する
(旧名が空欄の場合には旧姓を使用する)

表示件数 25件 ▼

☐	修了証書・ 認定証 交付年度	医籍登録番号	氏名(漢字) 氏名(全角カナ)	医師会 入会状況	承認者・承認日・ 承認区分	単位取得状況 座学研修 (日医生涯教育制度)		実地研修	情報共有欄
--------------------------	----------------------	--------	--------------------	-------------	------------------	------------------------------	--	------	-------

該当項目がありません。

1. かかりつけ医機能報告制度にかかる 研修の修了申請一覧（その2）

- 1) 「かかりつけ医機能報告制度にかかる研修 修了申請書」で申請された申請者情報を新規登録する場合。
・【新規】をクリックする。
（「2. 新規修了申請（代理申請）」参照）
 - 2) 申請内容を確認・変更する。
・一覧から対象者を選択し、【申請内容確認・変更】をクリックする。（「4. 申請内容の変更」参照）
 - 3) マイページから申請された申請者を承認せず、申請者に差し戻しする。
・一覧から対象者を選択し、【差戻し】をクリックする。
（「5. 差戻し」参照）
 - 4) マイページから申請された申請者を承認する。
・一覧から対象者を選択し、【承認】をクリックする。
（「3. 修了申請の承認」参照）
 - 5) 修了証をダウンロード・印刷する。
・一覧から対象者を選択し、【修了証/認定証ダウンロード】をクリックする。
（「6. 修了証のダウンロード」参照）
- ・各医師のマイページからも修了証のダウンロード・印刷は可能であるので、必要に応じてご利用いただきたい。

医師会会員情報システム

研修会(講習会)管理システム

氏名：研修管理 ユーザ1

システムメニュー

閉じる

研修会(講習会)管理

生涯教育申告書データ入力

受講記録出力

認定(修了)申請者一覧

認定(修了)申請者一覧

認定(修了)申請者一覧

検索条件

閉じる

制度種別 必須

☒ かかりつけ医機能報告制度にかかる研修

修了証書・認定証 交付年度・月次 必須

▼

年度

申請先医師会

北海道医師会

▼

医籍登録番号

氏名(漢字)

氏名(全角カナ)

000000

入力ください

入力ください

認定(修了)申請・承認状況

☒ 一時保存中
 ☒ 承認待ち
 ☒ 差戻し
 ☒ 承認済

検索

クリア

新規

申請内容確認・変更

差戻し

承認

修了証/認定証ダウンロード

☐ 修了証や認定証に旧姓・旧名を使用する
(旧名が空欄の場合には旧姓を使用する)

表示件数 25件 ▼

	修了証書・ 認定証 交付年度	医籍登録番号	氏名(漢字) 氏名(全角カナ)	医師会 入会状況	承認者・承認日・ 承認区分	単位取得状況		情報共有欄
						座学研修 (日医生涯教育制度)	実地研修	
☐								

該当項目がありません。

4

2. 新規修了申請（代理申請）

申請者から「かかりつけ医機能報告制度にかかる研修修了申請書」が提出された場合、申請一覧画面から新規登録を行う。

- ①認定（修了）申請者一覧画面で【新規】をクリックする。
- ②医籍登録番号またはカナ氏名を入力し、【検索】をクリックする。
- ③表示された医師の情報が申請者の情報であることを確認する。
- ④座学研修はMAMIS登録済情報を検索し、実地研修は実績を入力する。（2-1参照）
- ⑤座学研修と実地研修、それぞれ必須で、取得単位合計が10単位以上の場合、申請可能である。要件を満たしていることを確認のうえ、【申請する】をクリックする。
- ⑥承認済として、申請者一覧に表示される。

認定(修了)申請者一覧

認定(修了)申請書データ 新規入力

医籍登録番号	必須	000000	検索
カナ氏名		カタカナで入力してください	検索
申請先医師会	必須	選択してください	
修了証書・認定証 交付年度	必須	2025	年度
氏名(漢字)		姓 医師	名 太郎
氏名(全角カナ)		セイ イシ	メイ タロウ
座学研修 (日医生涯教育制度)	必須	検索期間	年～ 2025 年 検索
取得単位数	必須	0 単位	座学研修 単位追加入力
実地研修 取得単位数	必須	0 単位	実地研修実績入力
情報共有欄		入力してください	

2-1. 申請内容の入力

認定(修了)申請者一覧

認定(修了)申請書データ 新規入力

医籍登録番号	必須	000000	検索
カナ氏名		カタカナで入力してください	検索
申請先医師会	必須	選択してください	
修了証書・認定証 交付年度	必須	2025 年度	
氏名(漢字)		姓 医師 名 太郎	
氏名(全角カナ)		セイ イシ メイ タロウ	
座学研修 (日医生涯教育制度) 取得単位数	必須	検索期間 年 ~ 2025 年 検索	
	必須	0 単位 座学研修 単位追加入力	
実地研修 取得単位数	必須	0 単位 実地研修実績入力	
情報共有欄		入力してください	

入力作業を行っている医師会名が表示される。

作業を行う年度を選択する。

申請に使用するためにMAMISに登録済の座学研修（日医生涯教育制度）の取得単位数を検索する。
生涯教育制度の単位を取得した期間（年度）を選択して、【検索】をクリックすると、検索結果が単位欄に表示される。
例）2024年度～2025年度に取得した単位を使用する場合、2024を選択する。
現時点では、座学研修の受講期間に制限はなく、過去の分も使用できる。
単位が不足する場合、検索年度を変更して確認することができる。

座学研修（日医生涯教育制度）単位追加申告書が提出された場合のみクリックする。
クリックすると、座学研修（生涯教育制度）単位等追加入力画面に遷移する。
ただし、追加できる単位は申請年度に取得したものに限る。

クリックすると、実地研修実績入力画面に遷移する。

2-1-1. 座学研修（生涯教育制度）単位等追加入力

- ①座学研修（日医生涯教育制度）単位追加申告書の生涯教育制度単位等記入表に記載された単位数とカリキュラムコードを入力する。
- ②【追加】をクリックする。

認定(修了)申請
かかりつけ医機能報告制度にかかる座学研修
(生涯教育制度) 単位等追加入力

クリア

申告(追加)年度 2025 年度

単位・カリキュラムコード

単位	カリキュラムコード
10.0 単位	2 CC

学習単位

他学会の講習会等	医師国試問題作成	研修等指導
10.0 単位	0 単位	0 単位
体験学習	論文執筆	
0.0 単位	0 単位	

取得カリキュラムコード(CC)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
81	82	83	0						
☐	☐	☐	☐						

※他学会の講習会等は、日本医学会分科会で取得された単位や日医生涯教育制度の単位等が記載された受講証を添付し入力してください。
ただし、すでにシステムに登録済の単位やCCは二重登録になるので、入力しないようご注意ください。

※アップロードできるファイルは10ファイルまで、JPEG / GIF / PNG / PDF / MS Word / MS Excelです。

ここにファイルをドラッグ&ドロップ
または
ファイルを選択

1ファイルの最大アップロードサイズ：10MB

追加

アップロードは不要。

2-1-2. 実地研修（経験）実績入力

認定(修了)申請 かかりつけ医機能報告制度にかかる実地研修実績入力

I 都道府県・都市区医師会長が認めた経験等を選択し、表示された内容から該当する実地研修（経験）を選択してください。

I の中に該当する実地研修がない場合、II その他を選択したうえで、大学や医師会等のシミュレーションラボ・その他を選択し、実地研修の内容がわかる資料をアップロードしてください。

また、医師会員以外の医師が申請する場合は、医師免許証も実地研修添付資料としてアップロードしてください。

クリア

実地研修・受講報告	実施
I 都道府県・都市区医師会長が認めた経験等	☒
1. 地域の時間外・救急対応	
平日夜間・休日輪番業務	☒
地域行事の救護班	☐
在宅当番医	☐
休日夜間急患センター	☐
電話相談業務	☐
2. 行政・医師会等の公益活動	
行政等（国・都道府県・保健所・市区町村・自治会等）の委員	☐
医師会・専門医会の委員	☐
警察業務への協力	☐
防災会議への出席	☐
地域医療に関する会議への出席	☐
レセプトの審査委員会への出席	☐
地域ケア会議への出席	☐
障害者認定審査会への出席	☐
介護保険認定審査会への出席	☐

3. 地域保健・公衆衛生活動	
母子保健（産科健診）	☐
乳幼児保健（1歳6か月児健診・3歳児健診）	☐
学校保健（学校健診、学校医活動）	☐
学校健康教育（性教育、がん教育、禁煙・薬物教育等）	☐
産業保健（地域産業保健センター活動、職場の健康相談、産業医活動）	☐
事業主健診（特定健診・特定保健指導）	☐
高齢者保健（高齢者健診・認知症健診）	☐
予防接種（定期・その他）	☐
がん・成人病検診	☐
市民公開講座（健康講座・介護教室）	☐
精神保健	☐
健康スポーツ医活動	☐
4. 多職種連携	
訪問診療等の在宅医療ネットワークへの参加	☐
介護保険関連文書の作成（主治医意見書等）	☐
多職種との会合（ケアカンファレンス等）	☐
ACPの策定	☐
5. その他	
看護師・准看護師養成所に関する業務	☐
医学部等における地域医療等についての講義・講演	☐
医師会共同利用施設への参加	☐
高齢者の運転免許に関する診断書の作成	☐
成年後見人制度における診断書の作成	☐
死体検案	☐
医療DX（地域医療情報連携ネットワーク等への参加等）	☐
医療GX（医療機関等における温室効果ガス削減等の取組等）	☐
論文執筆等の学術活動	☐
高齢者・障害者施設への対応	☐
地域における症例研究（J-DOME等）	☐

- ①実地研修（経験）報告書を確認し、選択された内容を選択する。
- ②【登録】をクリックする。

注1：I 都道府県・都市区医師会長が認めた経験等の内容を選択時は、証明書等のアップロードは必須ではない。

注2：I に該当する実地研修がない場合、II その他を選択し、内容がわかる資料をアップロードすること。ただし、II のみでは5単位しか取得できない。I とII の併用はできないため、I に該当する実地研修がないが、I とII でそれぞれ1項目（合計2項目）選択したい場合は、II ではなくI から最も内容が近いと思われるものを選択すること。

実地研修・受講報告

I 都道府県・都市区医師会長が認めた経験等

II その他

1.大学や医師会等のシミュレーションラボ・その他

実施

☐

☒

☐

実地研修 添付資料

スクリーンショット 2025-04-14 13:58:40.png

※アップロードできるファイルは10ファイルまで、JPEG / GIF / PNG / PDF / MS Word / MS Excelです。

ここにファイルをドラッグ＆ドロップ
または

ファイルを選択

1ファイルの最大アップロードサイズ：10MB

登録

3-1. 修了申請の承認

- ①申請者を選択し、【申請内容確認・変更】をクリックして申請内容のうち実地研修について確認する。（注1、2）
- ②内容を確認し、申請通り認める場合は、【承認】をクリックする。
- ③申請者を複数選択し、【承認】をクリックすると一括承認が可能である。

注1：変更入力画面の【実地研修実績入力】をクリックすると、入力された内容が確認できる。
実地研修の添付資料は、ファイル名をクリックすると、ダウンロードが可能である。

注2：申請された実地研修の内容について、医師会において把握している内容もあることから、実地研修の添付資料のアップロードはシステム上必須としていない。必要に応じて提出するよう依頼していただきたい。

認定(修了)申請者一覧

検索条件

閉じる

制度種別 必須

☒ かかりつけ医機能報告制度にかかる研修

修了証書・認定証 交付年度・月次 必須

2025

▼

年度

申請先医師会

日本医師会 生涯教育課

▼

医籍登録番号

氏名(漢字)

氏名(全角カナ)

000000

入力ください

入力ください

認定(修了)申請・承認状況

☒ 一時保存中
 ☒ 承認待ち
 ☒ 差戻し
 ☒ 承認済

検索

クリア

新規 申請内容確認・変更 差戻し 承認 修了証/認定証ダウンロード								
☐ 修了証や認定証に旧姓・旧名を使用する (旧名が空欄の場合には旧姓を使用する) 表示件数 25件 ▼								
	修了証書・ 認定証 交付年度	医籍登録番号	氏名(漢字) 氏名(全角カナ)	医師会 入会状況	承認者・承認日・ 承認区分	単位取得状況		情報共有欄
						座学研修 (日医生涯教育制度)	実地研修	
☐	2025年度	999100	日立 次郎 ヒタチ ジロウ	非会員	日本医師会 2025/04/10 承認済	29	5	
☒	2025年度	999100	日立 次郎 ヒタチ ジロウ	非会員	日本医師会 - 日本医師会承認待ち	29	5	

3-2-1. 申請内容の確認

【申請内容確認・変更】をクリックすると、変更入力画面に遷移する。

申請内容の確認とともに、申請内容の変更も可能である。

【実地研修実績入力】をクリックすると、入力された内容が確認できる。

認定(修了)申請者一覧

認定(修了)申請書データ 変更入力

医籍登録番号	必須	999100	
カナ氏名		カタカナで入力してください	
申請先医師会	必須	日本医師会	
修了証書・認定証 交付年度	必須	2025	年度
氏名(漢字)		姓 日立	名 次郎
氏名(全角カナ)		セイ ヒタチ	メイ ジロウ
座学研修 (日医生涯教育制度) 取得単位数	必須	検索期間 2016 年 ~ 2025 年	検索
		29 単位	座学研修 単位追加入力
実地研修 取得単位数	必須	5 単位	実地研修実績入力
情報共有欄		入力してください	

変更する

3-2-2. 実地研修申請内容の確認

認定(修了)申請
かかりつけ医機能報告制度にかかる実地研修実績入力

I 都道府県・都市区医師会長が認めた経験等を選択し、表示された内容から該当する実地研修(経験)を選択してください。

I の中に該当する実地研修がない場合、II その他を選択したうえで、大学や医師会等のシミュレーションラボ・その他を選択し、実地研修の内容がわかる資料をアップロードしてください。

また、医師会員以外の医師が申請する場合は、医師免許証も実地研修添付資料としてアップロードしてください。

クリア

実地研修・受講報告	実施
I 都道府県・都市区医師会長が認めた経験等	☒
1. 地域の時間外・救急対応	
平日夜間・休日輪番業務	☒
地域行事の救護班	☐
在宅当番医	☐
休日夜間急患センター	☐
電話相談業務	☐
2. 行政・医師会等の公益活動	
行政等(国・都道府県・保健所・市区町村・自治会等)の委員	☐
医師会・専門医会の委員	☐
警察業務への協力	☐
防災会議への出席	☐
地域医療に関する会議への出席	☐
レセプトの審査委員会への出席	☐
地域ケア会議への出席	☐
障害者認定審査会への出席	☐
介護保険認定審査会への出席	☐

3. 地域保健・公衆衛生活動	
母子保健(産科健診)	☐
乳幼児保健(1歳6か月児健診・3歳児健診)	☐
学校保健(学校健診、学校医活動)	☐
学校健康教育(性教育、がん教育、禁煙・薬物教育等)	☐
産業保健(地域産業保健センター活動、職場の健康相談、産業医活動)	☐
事業主健診(特定健診・特定保健指導)	☐
高齢者保健(高齢者健診・認知症健診)	☐
予防接種(定期・その他)	☐
がん・成人病検診	☐
市民公開講座(健康講座・介護教室)	☐
精神保健	☐
健康スポーツ医活動	☐
4. 多職種連携	
訪問診療等の在宅医療ネットワークへの参加	☐
介護保険関連文書の作成(主治医意見書等)	☐
多職種との会合(ケアカンファレンス等)	☐
ACPの策定	☐
5. その他	
看護師・准看護師養成所に関する業務	☐
医学部等における地域医療等についての講義・講演	☐
医師会共同利用施設への参加	☐
高齢者の運転免許に関する診断書の作成	☐
成年後見人制度における診断書の作成	☐
死体検案	☐
医療DX(地域医療情報連携ネットワーク等への参加等)	☐
医療GX(医療機関等における温室効果ガス削減等の取組等)	☐
論文執筆等の学術活動	☐
高齢者・障害者施設への対応	☐
地域における症例研究(J-DOME等)	☐

選択された内容が確認できる。

実地研修の添付資料は、ファイル名をクリックすると、ダウンロードが可能である。確認後、【戻る】をクリックする。

注：確認のみで追加登録をせず、【戻る】をクリックすると、入力内容を破棄するとメッセージが出るが、登録済の内容は破棄されないの、【戻る】をクリックすること。

II その他

1. 大学や医師会等のシミュレーションラボ・その他

cc.pdf 削除

※アップロードできるファイルは10ファイルまで、JPEG / GIF / PNG / PDF / MS Word / MS Excelです。

ここにファイルをドラッグ&ドロップ
または
ファイルを選択

1ファイルの最大アップロードサイズ：10MB

登録

戻る

4. 申請内容の変更

申請者を選択し、【申請内容確認・変更】をクリックすると、変更入力画面に遷移する。
申請内容の変更方法は「2-1 申請内容の入力」と同様である。

認定(修了)申請者一覧

認定(修了)申請書データ 変更入力

医籍登録番号	必須	999100	
カナ氏名		カタカナで入力してください	
申請先医師会	必須	日本医師会	
修了証書・認定証 交付年度	必須	2025	年度
氏名(漢字)		姓 日立	名 次郎
氏名(全角カナ)		セイ ヒタチ	メイ ジロウ
座学研修 (日医生涯教育制度) 取得単位数	必須	検索期間 2016 年 ~ 2025 年	検索
	必須	29 単位	座学研修 単位追加入力
実地研修 取得単位数	必須	5 単位	実地研修実績入力
情報共有欄		入力してください	

5. 差戻し（その1）

承認できない場合、差し戻しできる。

- ①申請者を選択し、承認しない場合は、
【差戻し】をクリックすると、
差戻し理由入力画面に遷移する。

認定(修了)申請者一覧

検索条件

閉じる

制度種別 必須

☒ かかりつけ医機能報告制度にかかる研修

修了証書・認定証 交付年度・月次 必須

2025

▼

年度

申請先医師会

日本医師会 生涯教育課

▼

医籍登録番号

氏名(漢字)

氏名(全角カナ)

000000

入力ください

入力ください

認定(修了)申請・承認状況

☒ 一時保存中
 ☒ 承認待ち
 ☒ 差戻し
 ☒ 承認済

検索

クリア

新規

申請内容確認・変更

差戻し

承認

修了証/認定証ダウンロード

☐ 修了証や認定証に旧姓・旧名を使用する
(旧名が空欄の場合には旧姓を使用する)

表示件数25件

☐	修了証書・ 認定証 交付年度	医籍登録番号	氏名(漢字) 氏名(全角カナ)	医師会 入会状況	承認者・承認日・ 承認区分	単位取得状況		情報共有欄
						座学研修 (日医生涯教育制度)	実地研修	
☐	2025年度	999100	日立 次郎 ヒタチ ジロウ	非会員	日本医師会 2025/04/10 承認済	29	5	
☒	2025年度	999100	日立 次郎 ヒタチ ジロウ	非会員	日本医師会 - 日本医師会承認待ち	29	5	

5. 差戻し（その2）

②差戻し理由を入力し、【OK】をクリックする。

注：医師会員以外の医師からの申請について、申請された医師会のご判断で審査・承認していただくことは可能である。一方で、自医師会では、審査・承認ができず、日本医師会等に申請し直してほしい場合があると想定される。そのような場合の案内用として定型文を用意しているので、必要に応じて、活用していただきたい。

認定(修了)申請者一覧

認定(修了)申請差戻し理由 新規入力

選択した修了申告書を差戻します。差戻し理由を入力し、OKボタンを押してください。

定型文入力	定型文 当会では本申請は受理できません。実地研修実績入力画面で「II その他」を選択したうえで、「大学や医師会等のシミュレーションラボ・その他」を選択・登録し、申請先を日本医師会に変更して改めて申請してください。
差戻し理由	必須 入力してください（500文字まで）
OK	

戻る

6. 修了証のダウンロード

- ①申請者を選択し、【修了証/認定証ダウンロード】をクリックする。
- ②PDFファイルではなく、ブラウザの別画面が表示される。

注：各医師がマイページからダウンロードすることも可能である。

認定(修了)申請者一覧

検索条件 閉じる

制度種別 必須
☒ かかりつけ医機能報告制度にかかる研修

修了証書・認定証 交付年度・月次 必須
2025 ▼ 年度

申請先医師会
日本医師会 生涯教育課 ▼

医籍登録番号 氏名(漢字) 氏名(全角カナ)
000000 入力ください 入力ください

認定(修了)申請・承認状況
☒ 一時保存中 ☒ 承認待ち ☒ 差戻し ☒ 承認済

検索

クリア

新規 申請内容確認・変更 差戻し 承認 修了証/認定証ダウンロード								
☐ 修了証や認定証に旧姓・旧名を使用する (旧名が空欄の場合には旧姓を使用する)								
表示件数 25件 ▼								
☐	修了証書・ 認定証 交付年度	医籍登録番号	氏名(漢字) 氏名(全角カナ)	医師会 入会状況	承認者・承認日・ 承認区分	単位取得状況		情報共有欄
						座学研修 (日医生涯教育制度)	実地研修	
☒	2025年度	999100	日立 次郎 ヒタチ ジロウ	非会員	日本医師会 2025/04/10 承認済	29	5	15

ブラウザの画面で
【…】をクリックし、
表示された内容から
印刷を選択し、プリンター
を選択して印刷するか、
「PDFとして保存」を選択する。

DownloadKakarituke/

かかりつけ医機能報告制度にかかる研修

修了証

日立 次郎 殿

あなたは日本医師会が定める「かかりつけ医機能報告制度にかかる研修」を修了したことを証します

2025年 4月 10日

日本医師会長 松本 吉郎



※Microsoft Edgeの例

MAMIS 研修管理機能操作マニュアル

<医師向け（マイページ） かかりつけ医機能報告制度にかかる研修の修了申請編>
Ver.1.0

2025年5月8日

日本医師会生涯教育課

MAMIS マイページの機能について

- ・ MAMISへのログイン、マイページについては、
「MAMIS操作マニュアル（ログインから利用者登録まで）」
をご確認ください。
- ・ 日医生涯教育制度の単位取得状況の確認、受講証明書出力などは、「MAMIS 研修管理機能操作マニュアル＜医師向け（マイページ）日医生涯教育制度編＞」をご確認ください。

マイページ

マイページTOPにある
【研修管理(申請・単位確認等)】
をクリックしてください。



医師会
会員情報システム



ログアウト

マイページ：日立 次郎 様 | 医籍登録番号：第999100号

マイページTOP

会員証 ▾

申請ステータス

現在、申請はありません

MAMIS

各種申請


登録情報
入会届
異動届

研修管理（申請・単位確認等）

医師会入退会履歴

退会届

※入会・異動・退会届は、医師会によって申請時にご提出いただく書類が異なります。申請される前にお電話またはメールにてお問合せください。
各医師会の連絡先はこちら → [各地の医師会](#) | [日本医師会\(med.or.jp\)](#)

お知らせ

一覧へ →

研修会（講習会）管理メインメニュー

- 1) かかりつけ医機能報告制度にかかる研修の修了申請
【認定（修了）申請】をクリックすると、かかりつけ医機能報告制度にかかる研修の修了申請画面に遷移します。
- 2) かかりつけ医機能報告制度にかかる研修の修了申請の履歴の確認
【認定（修了）申請履歴 認定証・修了証ダウンロード】をクリックすると、申請履歴および修了証ダウンロード画面に遷移します。
- 3) かかりつけ医機能報告制度にかかる研修の修了証ダウンロード
【認定（修了）申請履歴 認定証・修了証ダウンロード】をクリックすると、申請履歴および修了証ダウンロード画面に遷移します。

研修会(講習会)管理

受講実績・
単位取得状況表示
受講証明書出力

認定(修了)申請
認定産業医・認定健康スポーツ医
日医かかりつけ医機能研修制度
かかりつけ医機能報告制度にかかる
研修

認定(修了)申請履歴
生涯教育申告書／
認定産業医・認定健康スポーツ医
日医かかりつけ医機能研修制度
かかりつけ医機能報告制度にかかる
研修

認定証・修了証
ダウンロード
生涯教育(学習単位取得証・認定証)
認定産業医認定証
認定健康スポーツ医認定証
日医かかりつけ医機能研修制度
修了証
かかりつけ医機能報告制度にかかる
研修修了証

研修会(講習会)管理
受講実績

検索条件を

講座種別
☐ 生涯教育
☐ 日医かかりつけ医機能研修制度

目的
☐ 受講実績

1. かかりつけ医機能報告制度にかかる研修の修了申請について（概略）

- ・本制度の趣旨、目的も含め詳細は「かかりつけ医機能報告制度にかかる研修実施要綱」（以下、「実施要綱」という。）をご確認ください。
- ・座学研修とは、日本医師会生涯教育制度で取得した単位となります。
- ・修了申請にあたって、座学研修はMAMISに登録済の生涯教育制度単位を利用します。
- ・座学研修の受講期間の制限（有効期間）はありません。
- ・過去、1単位も取得したことがない場合や座学研修の単位を加算したい場合、次のいずれかの方法で単位を取得してください。
ただし、加算は申請年度（年度ごと）に取得した単位に限ります。
 - ①日医e-ラーニングを受講する。（日医会員に限ります。）※取得した単位等は翌日以降に反映されます。
 - ②医師会等で行っている生涯教育制度の単位が取得できる研修会に参加する。
（受講後、主催者がMAMISに受講実績を登録する必要があります。ただし、大阪府内で研修を受講された方は大阪府医師会にご相談ください。）
 - ③その他、生涯教育制度で定める単位取得方法によって単位を取得する。
- ・実地研修（経験）とは、地域住民を守るため、それぞれの地域を面で支える活動で、申請者の自己申告によるものです。
実績入力画面から、該当する内容を選択してください。

2-1. 認定（修了）申請画面

メインメニューから【認定（修了）申請】をクリックすると、認定（修了）申請画面に遷移します。

- ①講座種別として【かかりつけ医機能報告制度にかかる研修】を選択します。
- ②受講済の座学研修の単位を検索して、表示します。（2-2参照）
- ③実地研修実績入力画面から実地研修の実績を入力します。（2-3参照）
- ④座学研修と実地研修、それぞれ必須で、取得単位合計が10単位以上の場合、申請可能です。要件を満たしていることを確認のうえ【申請する】をクリックしてください。

注：要件を満たしていない場合、申請できません。

研修会(講習会)管理

受講実績・
単位取得状況表示
受講証明書出力

認定(修了)申請
認定産業医・認定健康スポーツ医
日医かかりつけ医機能研修制度
かかりつけ医機能報告制度にか
かる研修

認定(修了)申請履歴
生涯教育申告書/
認定産業医・認定健康スポーツ医
日医かかりつけ医機能研修制度
かかりつけ医機能報告制度にか
かる研修

認定証・修了証
ダウンロード
生涯教育(学習単位取得証・認定証)
認定産業医認定証
認定健康スポーツ医認定証
日医かかりつけ医機能研修制度
修了証
かかりつけ医機能報告制度にか
かる研修修了証

認定(修了)申請

申請を取り下げる クリア

①
制度種別 必須 ● かかりつけ医機能報告制度にかかる研修

かかりつけ医機能報告制度にかかる研修

申請先医師会 必須 左京医師会 ▼

修了証書・認定証
交付年度 2025 ▼ 年度

④
取得単位合計 0 単位 単位不足

②
座学研修
(日医生涯教育制度)
取得単位数 検索期間 ▼ ~ 2025 検索
0 単位 単位不足
座学研修（日医生涯教育制度）単位追加入力

③
実地研修
取得単位数 0 単位 単位不足
実地研修実績入力

④ 申請する

2-2. 認定（修了）申請画面（医師会員）

研修会(講習会)管理

受講実績・
単位取得状況表示
受講証明書出力

認定(修了)申請
認定座業医・認定健康スポーツ医
日医かかりつけ医機能研修制度
かかりつけ医機能報告制度にかかる研修

認定(修了)申請履歴
生涯教育申告書／
認定座業医・認定健康スポーツ医
日医かかりつけ医機能研修制度
かかりつけ医機能報告制度にかかる研修

認定証・修了証
ダウンロード
生涯教育(学習単位取得証・認定証)
認定座業医認定証
認定健康スポーツ医認定証
日医かかりつけ医機能研修制度
修了証
かかりつけ医機能報告制度にかかる研修修了証

認定(修了)申請

申請を取り下げる	クリア
制度種別	必須 ☒ かかりつけ医機能報告制度にかかる研修
かかりつけ医機能報告制度にかかる研修	
申請先医師会	必須 左京医師会
修了証書・認定証 交付年度	2025 年度
取得単位合計	0 単位 単位不足
座学研修 (日医生涯教育制度) 取得単位数	検索期間 ~ 2025 検索 0 単位 単位不足 座学研修（日医生涯教育制度）単位追加入力
実地研修 取得単位数	0 単位 単位不足 実地研修実績入力

申請する

①デフォルトでMAMISに登録されている所属医師会が表示されます。
注：申請先医師会について、都道府県医師会等から指定があった場合、指定された医師会を選択してください。

②申請に利用するMAMISに登録済の座学研修（日医生涯教育制度）での取得単位数を検索して、取得済の単位数を表示します。
検索のために生涯教育制度の単位を取得した期間（年度）を選択して、【検索】をクリックすると、検索結果が単位欄に表示されます。
例：2024年度～2025年度に取得した単位を使用する場合、2024を選択します。
注：現時点では、座学研修の受講期間に制限はなく、過去の分も使用できます。
単位が不足する場合、検索年度を変更して確認することができます。

検索の結果、申請に必要な単位が不足しており、次の1、2の方法により単位を取得し、座学研修の単位を追加（加算）したい場合のみ、クリックしてください。
座学研修（生涯教育制度）単位等追加入力画面に遷移します。
ただし、追加できる単位は申請年度に取得したものに限りです。

- 参加証が交付される研修会を受講（MAMISに登録された研修会を除く）
- 体験学習、医師国家試験問題作成、臨床実習・臨床研修・専門研修制度における指導、医学学術論文・医学著書の執筆など

日医e-ラーニングの受講、研修会を受講し主催者がMAMISに登録した場合は、自動的に加算されますので、この操作は不要です。

③実地研修の実績入力のためクリックしてください。実地研修実績入力画面に遷移します。

2-2. 認定（修了）申請画面 （医師会員ではない場合）

研修会(講習会)管理

受講実績・
単位取得状況表示
受講証明書出力

認定(修了)申請
認定卒業証・認定健康スポーツ医
日医かかりつけ医機能報告制度
かかりつけ医機能報告制度にかか
る研修

認定(修了)申請履歴
生涯教育申告書/
認定卒業証・認定健康スポーツ医
日医かかりつけ医機能報告制度
かかりつけ医機能報告制度にかか
る研修

認定証・修了証
ダウンロード
生涯教育(学習単位取得証・認定証)
認定卒業証
認定健康スポーツ医認定証
日医かかりつけ医機能報告制度
修了証
かかりつけ医機能報告制度にかか
る研修修了証

認定(修了)申請

申請を取り下げる
クリア

制度種別	必須 ☒ かかりつけ医機能報告制度にかかる研修
------	--

かかりつけ医機能報告制度にかかる研修

都道府県	必須 選択してください
申請先医師会	必須 選択してください
修了証書・認定証 交付年度	2025 年度
取得単位合計	0 単位 単位不足
座学研修 (日医生涯教育制度) 取得単位数	検索期間 ~ 2025 検索 0 単位 単位不足 座学研修(日医生涯教育制度) 単位追加入力
実地研修 取得単位数	0 単位 単位不足 実地研修実績入力

申請する

①申請する都道府県、医師会を選択してください。
注：申請先医師会は最寄りの医師会を選択してください。都道府県医師会等から指定があった場合、指定された医師会を選択してください。

②申請に利用するMAMISに登録済の座学研修（日医生涯教育制度）での取得単位数を検索して、取得済の単位数を表示します。
検索のために生涯教育制度の単位を取得した期間（年度）を選択して、【検索】をクリックすると、検索結果が単位欄に表示されます。
例：2024年度～2025年度に取得した単位を使用する場合、2024を選択します。
注：現時点では、座学研修の受講期間に制限はなく、過去の分も使用できます。
単位が不足する場合、検索年度を変更して確認することができます。

検索の結果、申請に必要な単位が不足し、次の1、2の方法により単位を取得し、座学研修の単位を追加（加算）したい場合のみ、クリックしてください。
座学研修（生涯教育制度）単位等追加入力画面に遷移します。
ただし、追加できる単位は申請年度に取得したものに限りです。

- 参加証が交付される研修会を受講（MAMISに登録された研修会を除く）
- 体験学習、医師国家試験問題作成、臨床実習・臨床研修・専門研修制度における指導、医学学術論文・医学著書の執筆など

研修会を受講し主催者がMAMISに登録した場合は、自動的に加算されますので、この操作は不要です。

③実地研修の実績入力のためクリックしてください。実地研修実績入力画面に遷移します。

2-3. 座学研修（生涯教育制度）単位等追加入力画面

①単位数の入力と登録するカリキュラムコードを選択してください。

注：研修会等を受講した場合、参加証に記載された単位数の入力とカリキュラムコードを選択してください。ただし、日本医学会分科会主催の総会等に参加した場合、単位とカリキュラムコードは自己申告です。受講した講演時間、内容に応じて、単位とカリキュラムコードを入力してください。詳細は以下のサイトをご参照ください。
日本医師会生涯教育on-line
<https://www.med.or.jp/cme/about/shinkokusyo.html/>

認定(修了)申請
かかりつけ医機能報告制度にかかる座学研修
(生涯教育制度) 単位等追加入力

クリア

申告(追加)年度 2025 年度

単位・カリキュラムコード

単位	カリキュラムコード
10.0 単位	2 CC

学習単位

他学会の講習会等 10.0 単位	医師同誌読解作成 0 単位	研修等指導 0 単位
体験学習 0.0 単位	論文執筆 0 単位	

取得カリキュラムコード(CC)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
81	82	83	0						
☐	☐	☐	☐						

②参加証や各種証明書をアップロードしてください。

※他学会の講習会等は、日本医学会分科会で取得された単位や日本生涯教育制度の単位等が記載された参加証が交付された場合に、ご入力ください。
ただし、すでにシステムに登録済の単位やCCは二重登録になるので、入力しないようご注意ください。

参加証・各種証明書等

※アップロードできるファイルは10ファイルまで、JPEG / GIF / PNG / PDF / MS Word / MS Excelです。

ここにファイルをドラッグ&ドロップ
または

ファイルを選択

1ファイルの最大アップロードサイズ：10MB

③単位、カリキュラムコードの入力、書類のアップロードが完了したら【追加】をクリックしてください。

追加

2-4-1. 実地研修（経験）実績入力（都道府県・郡市区医師会が認めた経験等に該当する場合）

①過去も含め、該当する内容を選択してください。1項目につき、5単位取得できます。

認定(修了)申請

かかりつけ医機能報告制度にかかる実地研修実績入力

I 都道府県・郡市区医師会が認めた経験等を選択し、表示された内容から該当する実地研修（経験）を選択してください。
II の中に該当する実地研修がない場合、II その他を選択したうえで、大学や医師会等のシミュレーションラボ・その他を選択し、実地研修の内容がわかる資料をアップロードしてください。
また、医師会員以外の医師が申請する場合は、医師免許証も実地研修添付資料としてアップロードしてください。

クリア

実地研修・受講報告	実施
I 都道府県・郡市区医師会が認めた経験等	☒
1. 地域の時間外・救急対応	
平日夜間・休日輪番業務	☒
地域行事の救護班	☐
在宅当番医	☐
休日夜間急患センター	☐
電話相談業務	☐
2. 行政・医師会等の公益活動	
行政等（国・都道府県・保健所・市区町村・自治会等）の委員	☐
医師会・専門医会の委員	☐
警察業務への協力	☐
防災会議への出席	☐
地域医療に関する会議への出席	☐
レセプトの審査委員会への出席	☐
地域ケア会議への出席	☐
障害者認定審査会への出席	☐
介護保険認定審査会への出席	☐

3. 地域保健・公衆衛生活動	
母子保健（産科健診）	☐
乳幼児保健（1歳6か月児健診・3歳児健診）	☐
学校保健（学校健診、学校医活動）	☐
学校健康教育（性教育、がん教育、禁煙・薬物教育等）	☐
産業保健（地域産業保健センター活動、職場の健康相談、産業医活動）	☐
事業主健診（特定健診・特定保健指導）	☐
高齢者保健（高齢者健診・認知症健診）	☐
予防接種（定期・その他）	☐
がん・成人病検診	☐
市民公開講座（健康講座・介護教室）	☐
精神保健	☐
健康スポーツ医活動	☐
4. 多職種連携	
訪問診療等の在宅医療ネットワークへの参画	☐
介護保険関連文書の作成（主治医意見書等）	☐
多職種との会合（ケアカンファレンス等）	☐
ACPの策定	☐
5. その他	
看護師・准看護師養成所に関する業務	☐
医学部等における地域医療等についての講義・講演	☐
医師会共同利用施設への参画	☐
高齢者の運転免許に関する診断書の作成	☐
成年後見人制度における診断書の作成	☐
死体検案	☐
医療DX（地域医療情報連携ネットワーク等への参画等）	☐
医療GX（医療機関等における温室効果ガス削減等の取組等）	☐
論文執筆等の学術活動	☐
高齢者・障害者施設への対応	☐
地域における症例研究（J-DOME等）	☐

実地研修・受講報告	実施
I 都道府県・郡市区医師会が認めた経験等	☐
II その他	☒
1. 大学や医師会等のシミュレーションラボ・その他	
	☐

スクリーンショット 2025-04-14 13:5840.png

削除

※アップロードできるファイルは10ファイルまで、JPEG / GIF / PNG / PDF / MS Word / MS Excel です。

ここにファイルをドラッグ&ドロップ
または

ファイルを選択

1ファイルの最大アップロードサイズ：10MB

登録

②各種証明書をアップロードしてください。証明書として使用できる書類は実施要綱に記載しております。
注：医師会員ではない場合は医師免許証または医師資格証の画像もあわせてアップロードしてください。

③項目の選択、書類のアップロードが完了したことを確認し、【登録】をクリックしてください。

2-4-2. 実地研修（経験）実績入力（都道府県・郡市区医師会が認めた経験等に該当する研修がない場合）

認定(修了)申請

かかりつけ医機能報告制度にかかる実地研修実績入力

I 都道府県・郡市区医師会が認めた経験等を選択し、表示された内容から該当する実地研修（経験）を選択してください。

I の中に該当する実地研修がない場合、II その他を選択したうえで、大学や医師会等のシミュレーションラボ・その他を選択し、実地研修の内容がわかる資料をアップロードしてください。

また、医師会員以外の医師が申請する場合は、医師免許証も実地研修添付資料としてアップロードしてください。

クリア

実地研修・受講報告	実施
I 都道府県・郡市区医師会が認めた経験等	☒
1. 地域の時間外・救急対応	
平日夜間・休日輪番業務	☒

II その他	☒
1. 大学や医師会等のシミュレーションラボ・その他	☐

スクリーンショット 2025-04-14 13:58:40.png

※アップロードできるファイルは10ファイルまで、JPEG / GIF / PNG / PDF / MS Word / MS Excelです。

ここにファイルをドラッグ&ドロップ
または

ファイルを選択

1ファイルの最大アップロードサイズ：10MB

①【I 都道府県・郡市区医師会が認めた研修等】に該当する実地研修がない場合、【II その他】を選択し、大学や医師会等のシミュレーションラボ・その他を選択してください。

取得できる単位数は5単位のみです。

注1：IとIIの併用はできません。

IとIIでそれぞれ1項目（合計2項目）選択したい場合は、IIではなくIの中から最も内容が近いと思われるものを選択し、実地研修内容がわかる資料をアップロードしてください。

注2：【II その他】を選択時は、申請先医師会は都道府県または日本医師会となります。

②実地研修の内容がわかる資料（自由記載）とそれに関する証明書等をアップロードしてください。

注：医師会員ではない場合は医師免許証または医師資格証の画像もあわせてアップロードしてください。

③項目のチェック、書類のアップロードが完了したことを確認し、クリックしてください。

登録

3. 申請履歴の確認

メインメニューから【認定（修了）申請履歴 認定証・修了証ダウンロード】をクリックすると、認定（修了）申請履歴/認定証・修了証ダウンロード画面に遷移します。

- ①【生涯教育申告書・認定（修了）申請履歴 認定証・修了証ダウンロード】を選択します。
- ②制度種別として【かかりつけ医機能報告制度にかかる研修】を選択します。
- ③申告年度または申告日を設定し、【検索】をクリックします。
- ④検索結果が表示され、審査状況が確認できます。

注：マイページから申請した場合のみ、この画面から履歴が確認できます。

研修会(講習会)管理

受講実績・
単位取得状況表示
受講証明書出力

認定(修了)申請
認定産業医・認定健康スポーツ医
日医かかりつけ医機能研修制度
かかりつけ医機能報告制度にか
かる研修

認定(修了)申請履歴

生涯教育申告書
認定産業医・認定健康スポーツ医
日医かかりつけ医機能研修制度
かかりつけ医機能報告制度にか
かる研修

認定証・修了証
ダウンロード
生涯教育(学習単位取得証・認定証)
認定産業医認定証
認定健康スポーツ医認定証
日医かかりつけ医機能研修制度
修了証
かかりつけ医機能報告制度にか
かる研修修了証

認定（修了）申請履歴/認定証・修了証 ダウンロード

申請履歴一覧

検索条件を指定する

①

申請(申告)履歴・修了証等ダウンロード

☒ 生涯教育申告書・認定(修了)申請履歴

☐ 修了証等ダウンロード

②

制度種別

☐ 生涯教育

☐ 認定産業医

☐ 認定健康スポーツ医

☒ ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

☒ ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

申請(申告)状況

☐ 承認待ち

☐ 一時保存中

☐ 差戻し

☐ 承認済

③

申請(申告)年度

2025

申請(申告)日

yyyy/mm/dd

~

yyyy/mm/dd

③

検索

クリア

④

表示件数 25件

申請(申告)年度	申請(申告)日時	申請(申告)区分	申請(申告)状況	制度種別
0件中 0-0件を表示				

閉じる

12

4. 修了証ダウンロード

医師会における審査終了後、修了証がダウンロードできます。

メインメニューから【認定（修了）申請履歴 認定証・修了証ダウンロード】をクリックすると、認定（修了）申請履歴/認定証・修了証ダウンロード画面に遷移します。

- ①【修了証等ダウンロード】を選択します。
- ②制度種別として【かかりつけ医機能報告制度にかかる研修】を選択し、【検索】をクリックします。
- ③検索結果が表示されますので、修了証をクリックしてください。
ブラウザの別画面が表示されます。

認定（修了）申請履歴/認定証・修了証 ダウンロード 申請履歴一覧

検索条件を指定する

申請(申告)履歴・修了証等ダウンロード

☐ 生涯教育申告書・認定(修了)申請履歴 ☒ 修了証等ダウンロード

制度種別

☐ 生涯教育 ☐ 認定産業医 ☐ 認定健康スポーツ医

☒ ② かかりつけ医機能報告制度にかかる研修

② 検索

クリア

表示件数 25件		
認定証・修了証 交付年度	制度種別	③ 認定証・修了証/ 学習単位取得証ダウンロード
2025年度	かかりつけ医機能報告制度にかかる研修	修了証
1件中 0-1件を表示		
1		
閉じる		

ブラウザの画面で
【…】をクリックし、
表示された内容から
印刷を選択し、プリンター
を選択して印刷するか、
「PDFとして保存」を選択して
ください。

DownloadKakarituke/

かかりつけ医機能報告制度にかかる研修

修了証

日立 次郎 殿

あなたは日本医師会が定める「かかりつけ医機能報告制度にかかる研修」を修了したことを証します

2025年 4月 10日

日本医師会長 松本 吉郎



※Microsoft Edgeの例

かかりつけ医機能報告制度にかかる研修 修了申請書

申請日 年 月 日

申請先医師会 _____ 医師会

1. 申請者

ふりがな*
(1) 氏 名* _____

(2) 医籍登録番号* _____

(3) 電話* _____ (_____)

(4) メールアドレス _____

*必須

2. 修了証送付方法

※郵送、FAX、Mail いずれかにチェックのうえ、送付先情報をご記載ください。

☐ 発送

〒
送付先住所 _____

☐ FAX

FAX番号 _____

☐ Mail

メールアドレス _____

実地研修(経験) 報告書

過去も含め、該当する内容にチェックをいれて、合計をご記入ください。

あわせて各種証明書等(医師会員でない場合は、医師免許証または医師資格証の写しも)を添付してください。

実施数 _____ × 5 単位 合計 _____ 単位

I 地域に根差した医師の活動	
1. 地域の時間外・救急対応	
平日夜間・休日輪番業務	☐
地域行事の救護班	☐
在宅当番医	☐
休日夜間急患センター	☐
電話相談業務	☐
2. 行政・医師会等の公益活動	
行政等(国・都道府県・保健所・市区町村・自治会等)の委員	☐
医師会・専門医会の委員	☐
警察業務への協力	☐
防災会議への出席	☐
地域医療に関する会議への出席	☐
レセプトの審査委員会への出席	☐
地域ケア会議への出席	☐
障害者認定審査会への出席	☐
介護保険認定審査会への出席	☐
3. 地域保健・公衆衛生活動	
母子保健(産科健診)	☐
乳幼児保健(1 歳 6 か月児健診・3 歳児健診等)	☐
学校保健(学校健診、学校医活動)	☐
学校健康教育(性教育、がん教育、禁煙・薬物教育等)	☐
産業保健(地域産業保健センター活動、職場の健康相談、 産業医活動)	☐
事業主健診(特定健診・特定保健指導)	☐
高齢者保健(高齢者健診・認知症検診)	☐
予防接種(定期・その他)	☐
がん・成人病検診	☐
市民公開講座(健康講座・介護教室)	
精神保健	
健康スポーツ医活動	

4. 多職種連携	
訪問診療等の在宅医療ネットワークへの参画	☐
介護保険関連文書の作成(主治医意見書等)	☐
多職種との会合(ケアカンファレンス等)	☐
ACP の策定	☐
5. その他	
看護師・准看護師養成所に関する業務	☐
医学部等における地域医療等についての講義・講演	☐
医師会共同利用施設への参画	☐
高齢者の運転免許に関する診断書の作成	☐
成年後見制度における診断書の作成	☐
死体検案	☐
医療 DX(地域医療情報連携ネットワーク等への参画等)	☐
医療 GX(医療機関等における温室効果ガス削減等の取組等)	☐
論文執筆等の学術活動	☐
高齢者・障害者施設への対応	☐
地域における症例研究(J-DOME 等)	☐

Ⅱ その他	
医師会・大学等のシミュレーションラボ等	☐
具体的内容	

※ I 地域に根差した医師の活動に該当する項目がない場合、Ⅱ その他の医師会・大学等のシミュレーションラボ等にチェックをいれてください。具体的内容欄に詳細を記入のうえ、参加証等申請内容に関する証明書を添付してください。ただし、取得できる単位は5単位のみです。「I 地域に根差した医師の活動」と「Ⅱ その他」の併用はできません。I とⅡ でそれぞれ1項目(合計2項目)選択したい場合は、Ⅱ ではなく、I から最も内容が近いと思われるものを選択してください。

座学研修(日医生涯教育制度)単位追加申告書

座学研修(日医生涯教育制度)の受講期間に制限(有効期限)はありません。
MAMIS 登録済の座学研修(日医生涯教育制度)の単位を使用しますので、**日医生涯教育制度の単位が不足する場合のみ申告してください。**

日医生涯教育制度の単位・カリキュラムコード取得方法のうち、以下の①～⑥の方法で単位を取得し、かかりつけ医機能報告制度にかかる研修の座学研修の単位として追加したい場合、日医生涯教育制度の単位等にも加算しますので、別紙に記入のうえ、参加証等を添付してください。

ただし、追加できる単位は申請年度に取得したものに限りです。

なお、かかりつけ医機能報告制度にかかる研修にはカリキュラムコードは用いませんが、生涯教育制度の申告として加算いたしますので、カリキュラムコード(CC)欄もご記入ください。また、この申告で追加した単位等は、二重申告になりますので、生涯教育制度の自己申告期間(毎年3～4月)に改めての申告はできません。

①各科医会・製薬会社などの外部団体、都道府県単位未満の日本医学会分科会など MAMIS を利用していない(参加証が交付されている)研修会等の参加

注1:MAMIS で管理されている講習会・研修会はすでに受講が記録されますので、申告いただく必要はありません。

注2:大阪府内の研修を受講した場合もこれに該当しますが、大阪府医師会は独自システムを用いているため、本書類には記入せず、大阪府医師会にご相談ください。

②日本医学会総会および都道府県単位以上で開催される日本医学会分科会主催の学会・学術集会の参加

③体験学習(共同診療、病理解剖見学、手術見学等の病診・診診連携の中での学習等)

④医師国家試験問題作成

⑤臨床実習、臨床研修・専門研修制度における指導

⑥医学学術論文・医学著書の執筆

生涯教育制度単位等記入表

※以下の単位欄とカリキュラムコード（CC）欄の両方にご記入ください。

単位

講習会・学会等
単位

(単位上限なし)

医師国試問題作成
単位

(5単位まで)

研修等指導
単位

(5単位まで)

体験学習
単位

(単位上限なし)

論文等執筆
単位

(5単位まで)

合計学習単位数

単位

(単位数の合計を記入)

カリキュラムコード（CC）

取得したカリキュラムコード番号欄に○を1つ記入

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
81	82	83	0						

取得カリキュラムコード数

(○の数を記入)

カリキュラムコード

(略称：CC)

1	医師のプロフェッショナリズム	28	発熱	57	外傷
2	医療倫理：臨床倫理	29	認知能の障害	58	褥瘡
3	医療倫理： 研究倫理と生命倫理	30	頭痛	59	背部痛
4	医師－患者関係と コミュニケーション	31	めまい	60	腰痛
5	心理社会的アプローチ	32	意識障害	61	関節痛
6	医療制度と法律	33	失神	62	歩行障害
7	医療の質と安全	34	言語障害	63	四肢のしびれ
8	感染対策	35	けいれん発作	64	血尿（肉眼的、顕微鏡的）
9	医療情報	36	視力障害、視野狭窄	65	排尿障害（尿失禁・排尿困難）
10	チーム医療	37	目の充血	66	乏尿・尿閉
11	予防と保健	38	聴覚障害	67	多尿
12	地域医療	39	鼻漏・鼻閉	68	精神科領域の救急
13	医療と介護および福祉の連携	40	鼻出血	69	不安
14	災害医療	41	嘔声	70	気分の障害（うつ）
15	臨床問題解決のプロセス	42	胸痛	71	流・早産および満期産
16	ショック	43	動悸	72	成長・発達の障害
17	急性中毒	44	心肺停止	73	慢性疾患・複合疾患の管理
18	全身倦怠感	45	呼吸困難	74	高血圧症
19	身体機能の低下	46	咳・痰	75	脂質異常症
20	不眠（睡眠障害）	47	誤嚥	76	糖尿病
21	食欲不振	48	誤飲	77	骨粗鬆症
22	体重減少・るい瘦	49	嚥下困難	78	脳血管障害後遺症
23	体重増加・肥満	50	吐血・下血	79	気管支喘息・COPD
24	浮腫	51	嘔気・嘔吐	80	在宅医療
25	リンパ節腫脹	52	胸やけ	81	終末期のケア
26	発疹	53	腹痛	82	生活習慣
27	黄疸	54	便通異常（下痢、便秘）	83	相補・代替医療 （漢方医療を含む）
		55	肛門・会陰部痛	0	最新のトピックス・その他
		56	熱傷		

日医雑誌問題解答、日医 e-ラーニング、医師会会員情報システム（MAMIS）※を利用している講習会等で取得した単位・CC は、日本医師会で既に管理しておりますので、申告の必要はありません。なお、日医生涯教育制度の概要は、日本医師会生涯教育 on-line をご覧下さい。

生涯教育ポータルサイト

日本医師会生涯教育 on-line

<https://www.med.or.jp/cme>



※全国医師会研修管理システムからの移行分を含む

日医生涯教育制度 受講・学習記録

氏名	
----	--

講習会・講演会・ワークショップ・学会等

参加証等貼付欄

参加証等貼付欄

参加証等貼付欄

参加証等貼付欄

講習会・講演会・ワークショップ・学会等（つづき）

参加証等貼付欄

参加証等貼付欄

「医師国試問題作成」・「臨床実習、医師臨床研修・専門研修制度における指導」・「体験学習」

証明書貼付欄

*折りたたんで貼付して下さい

*単位取得証明書の様式は下記ページに掲載しています。
<https://www.med.or.jp/cme/about/youshiki.html>

医学学術論文・医学著書の執筆

※当該年度に掲載または刊行（予定を含む）されたものについて申告できます。共同執筆も含みます。
※カリキュラムコード（CC）は1回（1件）につき、2つまで自己申告で取得できます。

	掲載誌または出版社	論文名または著書名	カリキュラムコード	
①				
②				
③				
④				
⑤				

日医雑誌問題解答、日医 e-ラーニング、医師会会員情報システム（MAMIS）*を利用している講習会等で取得した単位・CC は、日本医師会で既に管理しておりますので、申告の必要はありません。なお、日医生涯教育制度の概要は、日本医師会生涯教育 on-line をご覧下さい。

生涯教育ポータルサイト
日本医師会生涯教育 on-line

<https://www.med.or.jp/cme/>



※全国医師会研修管理システムからの移行分を含む

日本医学会分科会

(143学会)

日本アフェレシス学会	日本国際保健医療学会	日本糖尿病学会
日本アレルギー学会	日本骨粗鬆症学会	日本動脈硬化学会
日本医学教育学会	日本骨代謝学会	日本東洋医学会
日本医学放射線学会	日本災害医学会	日本内科学会
日本胃癌学会	日本細菌学会	日本内視鏡外科学会
日本医史学会	日本再生医療学会	日本内分泌学会
日本移植学会	日本産科婦人科学会	日本内分泌外科学会
日本医真菌学会	日本産業衛生学会	日本乳癌学会
日本医療機器学会	日本磁気共鳴医学会	日本認知症学会
日本医療情報学会	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会	日本熱傷学会
日本医療・病院管理学会	日本周産期・新生児医学会	日本熱帯医学会
日本インターベンショナルラジオロジー学会	日本集中治療医学会	日本脳神経外科学会
日本ウイルス学会	日本循環器学会	日本脳神経血管内治療学会
日本衛生学会	日本消化器外科学会	日本脳卒中学会
日本衛生動物学会	日本消化器内視鏡学会	日本農村医学会
日本栄養・食糧学会	日本消化器病学会	日本肺癌学会
日本栄養治療学会	日本小児科学会	日本ハンセン病学会
日本疫学会	日本小児外科学会	日本泌尿器科学会
日本温泉気候物理医学会	日本小児血液・がん学会	日本皮膚科学会
日本解剖学会	日本小児循環器学会	日本肥満学会
日本化学療法学会	日本小児神経学会	日本病態栄養学会
日本核医学会	日本職業・災害医学会	日本病理学会
日本眼科学会	日本食道学会	日本婦人科腫瘍学会
日本癌学会	日本女性医学学会	日本プライマリ・ケア連合学会
日本感染症学会	日本自律神経学会	日本平滑筋学会
日本肝臓学会	日本神経学会	日本ペインクリニック学会
日本肝胆膵外科学会	日本神経病理学会	日本法医学会
日本癌治療学会	日本人工臓器学会	日本放射線腫瘍学会
日本緩和医療学会	日本心身医学会	日本保険医学会
日本気管食道科学会	日本腎臓学会	日本麻酔科学会
日本寄生虫学会	日本心臓血管外科学会	日本脈管学会
日本救急医学会	日本人類遺伝学会	日本免疫学会
日本矯正医学会	日本睡眠学会	日本薬理学会
日本胸部外科学会	日本生化学会	日本輸血・細胞治療学会
日本形成外科学会	日本整形外科学会	日本リウマチ学会
日本外科学会	日本生殖医学学会	日本リハビリテーション医学会
日本血液学会	日本精神神経学会	日本臨床検査医学会
日本結核・非結核性抗酸菌症学会	日本生体医工学会	日本臨床細胞学会
日本血管外科学会	日本生理学会	日本臨床腫瘍学会
日本血栓止血学会	日本脊椎脊髄病学会	日本臨床神経生理学学会
日本健康学会	日本先天異常学会	日本臨床スポーツ医学会
日本口腔科学会	日本造血・免疫細胞療法学会	日本臨床免疫学会
日本高血圧学会	日本大腸肛門病学会	日本臨床薬理学会
日本公衆衛生学会	日本体力医学会	日本リンパ腫学会
日本交通医学会	日本超音波医学会	日本レーザー医学会
日本呼吸器学会	日本手外科学会	日本老年医学会
日本呼吸器外科学会	日本てんかん学会	日本老年精神医学会
日本呼吸器内視鏡学会	日本透析医学会	

(五十音順) 2025年1月現在

注：最新のものはホームページをご確認ください。

かかりつけ医機能報告制度にかかる研修 実施要綱

2025 年 2 月 18 日

日 本 医 師 会

1. 趣旨

2025 年 4 月から「かかりつけ医機能報告制度」が施行されることを見据え、「かかりつけ医機能報告制度にかかる研修」を新設し、特定機能病院及び歯科医療機関を除く全ての医療機関が「かかりつけ医機能報告制度」の報告対象となるよう、地域に根差して活動をされている医師の実績も十分考慮し、研修修了者に対して修了証を発行する。

「かかりつけ医機能報告制度にかかる研修」は、医療機能情報提供制度における「かかりつけ医機能報告制度」の対象となるべく、日本医師会から厚生労働省に申出を行う。医療機関は修了証の取得者について報告することができる。

2. 背景

「全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律」が 2023 年 5 月に成立した。政省令等の内容については、厚生労働省「かかりつけ医機能が発揮される制度の施行に関する分科会」で議論のうえ、2024 年 7 月末に「かかりつけ医機能が発揮される制度の施行に向けた議論の整理」がとりまとめられ、2025 年 4 月から「かかりつけ医機能報告制度」が施行されることとなった。対象は特定機能病院及び歯科医療機関を除く医療機関である。

「かかりつけ医機能が発揮される制度の施行に関する分科会」では、報告医療機関について、「研修修了者を要件とすべき」といった声もあったが、日本医師会が「研修修了者の有無を報告するようにすべき」と主張した結果、「かかりつけ医機能に関する研修の修了者の有無、総合診療専門医の有無」を報告すれば可となった。

なお、「改正医療法施行後 5 年を目途として、研修充実の状況等を踏まえ、かかりつけ医機能に関する研修の修了者がいること又は総合診療専門医がいることを報告することについて改めて検討する」とされている。

「かかりつけ医機能報告制度」の目的は、地域の実情に応じて、各医療機関が機能や専門性に応じて連携しつつ、自らが担うかかりつけ医機能の内容を強化することで、地域を面として支えることである。地域医療の実情を可視化し、地域において必要なかかりつけ医機能を確保するためには、多くの医療機関が手を挙げ参画してもらうことが必要不可欠である。

3. 対象者

原則、地域に根差して活動し、臨床に従事する医師を対象とする。

日本医師会員であることが望ましいが、郡市区医師会までの会員も対象とし、

また非会員を排除するものでもない。

4. 運営組織

当面の間、生涯教育・専門医の仕組み運営委員会（別紙1）を活用する。

5. 医師会ならびに申告者等の責務

日本医師会、都道府県医師会および郡市区医師会ならびに申告者その他本研修にかかわる者は、公平性・公正性を毀損する行為を行ってはならない。

6. 研修内容

（1）座学研修（知識）

日本医師会生涯教育制度の申告状況に基づき、生涯教育制度における単位を、本研修における単位とする（別紙2）。

なお、本研修では生涯教育制度における単位のみを対象とし、カリキュラムコードは用いない。

（2）実地研修（経験）

①郡市区医師会または都道府県医師会長の承認

地域住民を守るため、それぞれの地域を面として支える活動を1つにつき5単位とする（別紙3）。

申請者の自己申告により、実施の有無を郡市区・都道府県医師会長に申請する。

②医師会や大学のシミュレーションラボの施設長の承認

医師会や大学のシミュレーションラボやトレーニングセンター等に参加した際、1施設につき5単位とする。

申請に当たっては、参加証（様式自由）を添付し、郡市区・都道府県医師会長または日本医師会長が承認する。

7. 修了証の発行

座学研修（知識）および実地研修（経験）をそれぞれ（必須）受講し、合計10単位以上取得した者は、かかりつけ医機能報告制度にかかる研修を修了したものとして、日本医師会長名の修了証（別紙4）を2025年4月より発行する。

8. 他の制度との違い

（1）日本医師会生涯教育制度との違い

日本医師会生涯教育制度は、臨床医のみならず、基礎医学を研究する等臨床を行っていない医師を含めた医師全体を対象としており、主に「座学」が中心である。

一方、かかりつけ医機能報告制度にかかる研修は、主に地域を面として支える臨床医を対象としたもので、「実地（経験）」が必須であり、それを重視している。

（２）日医かかりつけ医機能研修制度との違い

かかりつけ医機能報告制度にかかる研修は、ほぼ全ての医療機関（約 11 万 3 千）の臨床医を対象とするものである。

一方、日医かかりつけ医機能研修制度は、地域で中心にかかりつけ医機能の役割を担えるようさらなる研鑽に励む医師である。このため、日医かかりつけ医機能研修制度の修了者は、かかりつけ医機能報告制度にかかる研修の修了要件を既に満たしている。

９．運用上の疑義

運用において疑義が生じた場合等は、生涯教育・専門医の仕組み運営委員会（別紙 1）で検討を行い、対応する。

10．その他

- （１）本実施要綱は、2025 年 2 月 18 日から適用する。
- （２）本実施要綱は、適宜見直しの検討を行う。
- （３）修了証の発行については追って連絡する。

別紙 1 生涯教育・専門医の仕組み運営委員会

別紙 2 座学研修（知識）における具体例

別紙 3 実地研修（経験）における具体例

別紙 4 かかりつけ医機能報告制度にかかる研修修了証

生涯教育・専門医の仕組み運営委員会

1. 生涯教育・専門医の仕組み運営委員会（「日本医師会生涯教育制度」実施要綱より）

I. 日本医師会生涯教育制度

1. 運営組織

日本医師会生涯教育制度学習単位取得証および日医生涯教育認定証の交付に係る事項等、本制度の円滑な運営を図るため、また、専門医共通講習の審査・認定を行うため、日本医師会に生涯教育・専門医の仕組み運営委員会を設ける。

2. 委員

委員は日本医師会常勤役員から別途定める。

3. 生涯教育・専門医の仕組み運営委員会審議内容

(1) 以下について、単位・カリキュラムコードの付与に係る事項

1) 学習単位取得証の交付

2) 日医生涯教育認定証の交付

(2) その他、生涯教育制度運営に係る事項

(3) 専門医共通講習の審査・認定

4. 依頼手続等

(1) 単位・カリキュラムコードの付与に係る事項については、都道府県医師会長から生涯教育・専門医の仕組み運営委員会委員長宛の依頼文書をもって審議する。依頼文書には依頼の理由を必ず付記する。

(2) 医師会が主催する専門医共通講習の審査・認定については、日本専門医機構が定める「共通講習申請の手引き」で本委員会が審査機関として定められている。

5. 生涯教育・専門医の仕組み運営委員会センター

適切な推進のため、生涯教育・専門医の仕組み運営委員会にセンターを設ける。

構成員は別途定める。

6. 開催

- ・適宜

座学研修（知識）における具体例

日本医師会生涯教育制度において、以下のように単位を定めており、それに準じる。

1. 日本医師会雑誌を利用した解答（セルフアセスメント）

日本医師会雑誌を利用した解答は日本医師会会員のみが行うことができる。日本医師会雑誌に掲載された問題に対する解答は、日本医師会が証明・管理する。

日医雑誌1号につき、1単位を取得できる。年2回の日本医師会雑誌特別号を除き、日本医師会雑誌には毎号、問題を掲載する。

解答はインターネットまたははがきにより行う。インターネットまたははがきによる解答はいずれか1回限りとし、1号につき、アセスメントにより60%の正答率を得た者に1単位を付与する。正答率を満たさないものには単位を付与しない。

2. 日医eラーニング（セルフアセスメント）

日医eラーニングは日本医師会会員のみが受講できる。日医eラーニングについては、日本医師会が証明・管理する。

生涯教育 on-line で配信しているコンテンツを受講し、セルフアセスメントにおいて、80%の正答率を得た者は、1コンテンツにつき、1単位を取得できる。

正答率を満たさなかった場合は、再解答が可能である。

3. 講習会・講演会・ワークショップ等

講習会・講演会・ワークショップ等は、主催者が証明し、都道府県医師会・郡市区医師会が管理する。単位は1単位・1時間とする。

4. 医師国家試験問題作成

医師国家試験問題の作成は、都道府県医師会（郡市区医師会）が証明・管理する。

都道府県医師会（郡市区医師会）に提出されたものについて1題1単位とする。

5. 医学生の実習、医師臨床研修および専門研修制度における指導

医学生の実習、医師臨床研修・専門研修制度における指導の単位は、医学

部・医科大学、研修病院（例：学長、医学部長、病院長、診療科長、診療部長）、
郡市区医師会等が証明・管理する。

研修者1人を1日指導することにより1単位とする。

6. 体験学習

体験学習は、共同診療、病理解剖見学、手術見学等の病診・診診連携の中での
学習等、体験をとおして医学・医療を学習するものをいう。

体験学習は、施設長・所属長等が証明・管理する。

1時間1単位で上限は1回5単位までとする。

なお、賃金・報酬を得るものについては体験学習とはしない。

実地研修（経験）における具体例

申請者自身で以下に挙げたものを用意した上で、郡市区医師会または都道府県医師会に申請することが望ましい。

1. 地域の時間外・救急対応

(1) 平日夜間・休日輪番業務

・平日夜間・休日輪番業務に参加したことを証明できるもの。地域広報誌、休日・全夜間診療事業実施医療機関一覧など。

(2) 地域行事の救護班

・お祭りや運動会、花火大会など、地域で行うイベントにおいて救護班とした参加した写真など。

(3) 在宅当番医

・ホームページや地域広報誌等に掲載されている在宅当番医実施状況表など。

(4) 休日夜間急患センター

・休日夜間急患センターに出務したことを証明できるもの。地域広報誌など。

(5) 電話相談業務

・地域における医療電話相談年間予定表など。

2. 行政・医師会等の公益活動

(1) 行政等（国・都道府県・保健所・市区町村・自治会等）の委員

・行政等の委員委嘱状など。

(2) 医師会・専門医会の委員

・医師会・専門医会の委員委嘱状など。

(3) 警察業務への協力

・警察からの依頼状など。

(4) 防災会議への出席

・地域における防災会議に出席したことを証明できるもの。議事録など。

(5) 地域医療に関する会議への出席

・地域医療に関する会議に出席したことを証明できるもの。議事録など。

ど。

- (6) レセプトの審査委員会への出席
 - ・レセプト審査委員会委員名簿など。
- (7) 地域ケア会議への出席
 - ・地域ケア会議委員名簿など。
- (8) 障害者認定審査会への出席
 - ・障害者認定審査会委員名簿など。
- (9) 介護保険認定審査会への出席
 - ・介護保険認定審査会委員名簿など。

3. 地域保健・公衆衛生活動

- (1) 母子保健（産科健診）
 - ・集団予防接種や母親・両親学級など母子保健に関わる活動への依頼状、地域広報誌など。
- (2) 乳幼児保健（1歳6か月児健診・3歳児健診）
 - ・健診依頼状、地域広報誌など。
- (3) 学校保健（学校健診、学校医活動）
 - ・学校医依頼状など。
- (4) 学校健康教育（性教育、がん教育、禁煙・薬物教育等）
 - ・開催案内プログラム、開催案内が掲載されているホームページの内容を印刷したもの、講義中の写真など。
- (5) 産業保健（地域産業保健センター活動、職場の健康相談、産業医活動）
 - ・地域産業保健センターへの参画を証明できる依頼状、企業との契約書、契約先企業が労働基準監督署に提出する産業医選任報告書など。
- (6) 事業主健診（特定健診・特定保健指導）
 - ・医療保険者から依頼されたことが分かる書類等の写しなど。
- (7) 高齢者保健（高齢者健診・認知症検診）
 - ・市区町村の発刊している広報誌やチラシなど。
- (8) 予防接種（定期・その他）
 - ・市区町村の発刊している広報誌やチラシなど。
- (9) がん・成人病検診
 - ・市区町村の発刊している広報誌やチラシなど。
- (10) 市民公開講座（健康講座・介護教室）
 - ・講座を担当したことが分かるポスターや依頼状、または、実施の様

子が分かる写真など。

(1 1) 精神保健

・精神保健指定医として緊急措置入院を行った実績など。

(1 2) 健康スポーツ医活動

・認定健康スポーツ医の認定証、スポーツクラブや競技大会等における救護所への派遣依頼状、または、活動の様子が分かる写真など。

4. 多職種連携

(1) 訪問診療等の在宅医療ネットワークへの参画

・訪問診療等の在宅医療ネットワークへの参加実績など。

(2) 介護保険関連文書の作成（主治医意見書等）

・主治医意見書の作成実績など。

(3) 多職種との会合（ケアカンファレンス等）

・ケアカンファレンス等の開催通知など。

(4) ACP の策定

・アドバンス・ケア・プランニングシート策定実績など。

5. その他

(1) 看護師・准看護師養成所に関する業務

・看護師・准看護師養成所での役員名簿や講演などの様子が分かる写真など。

(2) 医学部等における地域医療等についての講義・講演

・講義・講演内容の記載されたプログラムなど。

(3) 医師会共同利用施設への参画

・医師会共同利用施設での活動が分かる書類など。

(4) 高齢者の運転免許に関する診断書の作成

・高齢者の運転免許に関する診断書の作成実績など。

(5) 成年後見制度における診断書の作成

・成年後見制度における診断書の作成実績など。

(6) 死体検案

・警察からの依頼状など。

(7) 医療 DX（地域医療情報連携ネットワーク等への参画等）

・地域医療情報連携ネットワーク一覧など。

(8) 医療 GX（医療機関等における温室効果ガス削減等の取組等）

・地球温暖化対策自主行動計画策定書などの取組み実績など。

(9) 論文執筆等の学術活動

- ・執筆論文など。

(1 0) 高齢者・障害者施設への対応

- ・配置医師または協力医療機関として高齢者・障害者施設への協力など。

(1 1) 地域における症例研究 (J-DOME 等)

- ・地域における症例研究への参加を証明する書類など。

(別紙 4)

かかりつけ医機能報告制度にかかる研修

修了証

日 医 花 子 殿

あなたは日本医師会が定める「かかりつけ医機能報告制度にかかる研修」を修了したことを証します

令和 ○年 ○月 ○日

日本医師会長 日 医 太 郎

